

いし い ひがし

# 石井東地区

面積：4.27 km<sup>2</sup>

人口：30,026 人（高齢化率 24.1%）

世帯数：13,436 世帯

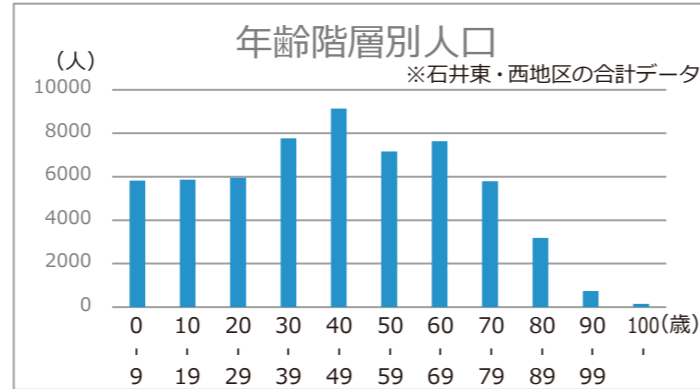


## 【地区の特色】

石井東地区は、市街地に近く天山・東山などの緑や温泉などの自然環境にも恵まれ、星岡古戦場・縦渕城跡など多くの史跡、文化財が残っており、肥沃広大な耕地をもとに穀倉地帯として発展してきた。また、毎年旧暦の正月七・八・九日の三日間に渡って行われる椿祭りでは、伊予豆比古命神社に多数の参拝客らが訪れる。近年では急速に市街化が進み、人口3万人を数え、市内で最も発展を遂げている。



毎年賑わう椿まつり



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が多い（3万人）</li> <li>協力会員約 400 名、民生委員・児童委員の連携が取れ活動が活発</li> <li>社会資源として、すべての面で恵まれている（介護事業所、南警察署、南消防署等）</li> <li>石井ボランティアや住民の活動が活発である ・高齢クラブが各町にある</li> <li>生活関連産業もたくさんある</li> <li>交通の便がよい ・松山インターチェンジがある ・稼働年齢層が多い</li> <li>サロン 18ヶ所、毎日型の集いの場 1ヶ所、子育て支援センター 2ヶ所で活動が盛ん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に避難する場所が少ない（3万人が小学校 2 校、中学校 1 校のみ）</li> <li>川幅が狭い為、大雨時、氾濫の恐れがある</li> <li>人口に対して公園、スポーツ施設が少ない</li> <li>人口に対して支所、公民館がせまい ・支所、公民館への交通手段が不便</li> <li>将来的にヘルパーさんが関わる時間が短いと困る高齢者が増えるのではないかと</li> <li>交通渋滞が起きやすい ・道が細く溝が多い箇所がある</li> <li>集会所の老朽化問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が 30,000 人を超えて、高齢者が多い</li> <li>労働人口が多いので、支える側の絶対数が少ない</li> <li>人口に対して公民館、支所、その駐車場が少ない</li> <li>人口に対して避難場所が少ない</li> <li>交通の不便（バスの路線見直し、ループバスの整備）</li> <li>川幅が狭い為大雨時、氾濫の恐れがある</li> <li>高速道路陸橋下の空き地の活用</li> </ul>

## 石井東地区社会福祉協議会

安心を笑顔で支える「人つなぎ夢つむぎ」

<拠点> 松山市居相 1 丁目 8-26 石井支所 2F

TEL / FAX : 089-904-4874

構成団体	地区民協・公民館・町内会・総代会・有識者・高齢クラブ連合会	
主な取り組み	活動内容	
福祉だよりの発行	「夢つむぎ」として年 3 回 12,000 部を作成し、全戸配布。地域福祉に関する情報を発信しています。	
地域の集いの場	IMA カフェ	・月に 1 回日曜日に開催、地域で採れた野菜やコーヒーなどの提供
	マンボ	・誰もが気軽に集える場として月～金曜毎日開放している
	星ぐるま	・ひとり暮らしの高齢者へのお弁当作成及び配布による見守り
避難行動要支援者名簿作成	災害時等の避難誘導の際に活用出来るよう、世帯別状況を色分けし、毎年更新して名簿からMAPを作成します。	

## 福祉交流会（10月）

地域の独居高齢者と障がいのある「おふくの会」の方約 200 名との交流会を開いています。手作りのちらし寿司を用意して、民生委員・児童委員、みまもり員による工夫を凝らした演芸を披露しています。また、参加者全員に配布される絵手紙を毎年楽しみに集めていらっしゃる方もいます。



## <地区社協が目指すもの>

安心を笑顔で支える「人つなぎ、夢つむぎ」のコンセプトのもと、地域住民が主体となって互いに支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。地区内には 65 才以上の高齢者の内、約 4 割 3,000 人（障がいのある人を含む）の災害時要支援者がおり、今後増え続ける要支援者を支える、支え合える「住民力」「地域力」の育成をめざします。超高齢社会の中で共生社会実現のためには向こう三軒両隣の顔の見える関係づくりが必要であり、一人ひとりが支えてこそ意義がある事を啓発すると共に地域に密着した福祉活動を推進していきます。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	43 名 3 名	■町内会・自治会・区長会等	11 団体
	■まち協の設立	平成 23 年度	■高齢クラブ	17 クラブ
		■子ども会	11 団体	
		■自主防災組織	19 組織	

人口の多さは地区社協協力会員の多さに必ずしも比例するものではありませんが、同地区では多くの会員がいることや、実践面においても福祉交流会などの事業が活発に行なわれていることは大きな特徴だといえるでしょう。地区社協の策定する「地域福祉活動計画」においても、地域住民が主体となった「夢くらぶ（委員会）」を組織し、基本理念（コンセプト）を明確にして PDCA サイクルすべてに関与しています。丁寧な話し合い、実施、振り返りを行うなど地域福祉推進の基礎組織としての役割を果たしています。この計画性や組織力をいかして、市街化にともなう人口増加によって生じる課題に対して、独自の視点で解消していくことが期待されています。

ココがポイント



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

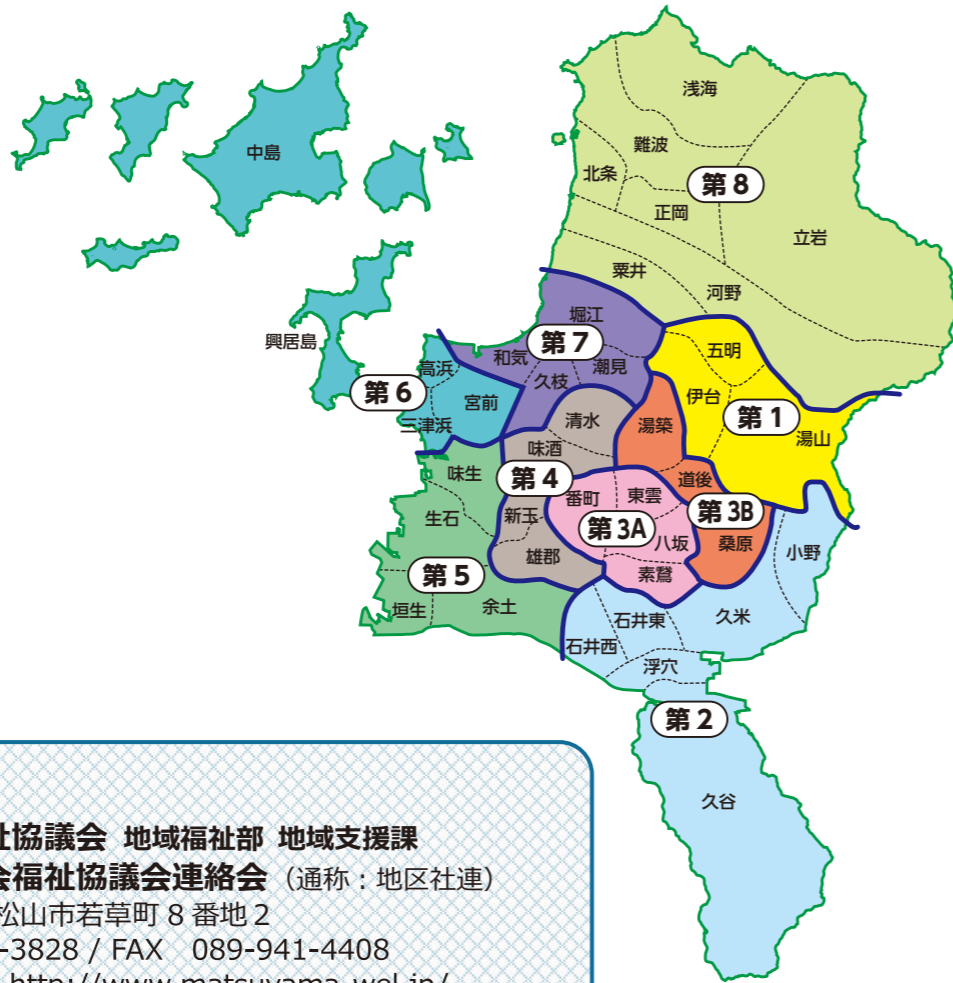
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称:地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏